

親和会ライフnavi

9月号

その大きなゴミ、みんなの会費で回収しています

袋に入れなきや、燃えるゴミじゃない!
そのまま出すと、収集されません!

親和会管内のゴミ収集は会費でまかなわれています。不法投棄された粗大ゴミの回収には、大きな会費負担が発生します。



- ✓ 燃えるゴミは必ず伊東市指定ゴミ袋に入れて出してください
- ✓ 大きなものはひと手間かけて小さく切って袋に入れましょう
- ✓ 指定袋に入っていないゴミは粗大ゴミ扱い、
収集されません



割れた食器など、包まずに出して!



ガラスや陶器などの「われもの」は、袋や紙で包まず、そのまま専用コンテナへ。これは収集作業員が中身を確認して回収するため、包まれていると一つひとつ開いて確認しなければなりません。



ペットボトルのキャップとラベルは、外して燃えるゴミに

ペットボトルは資源ごみですが、キャップとラベルは「燃えるごみ」です。外して捨てるのが、正しいマナーです。



枝木や葉っぱは、家庭ゴミと混ぜないで

必ず「伊東市指定ゴミ袋」に入れ、「指定の場所」に。

詳細は伊東市ゴミの分別ガイドブックをご覧ください。

1辺50cmを越えるものは50cm以内に切ってください。

台所ごみ・紙くず



ゴム製品

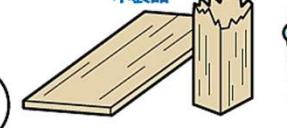


衣類・繊維類



(再使用できる衣類は拠点回収へ)

木製品



皮革製品



プラスチック製品



(※ プラマーカー容器包装・
ペットボトル以外)

古着等特別回収のお知らせ

日時： 10月30日(木) 9:00～15:00

場所： ナガヤハ幡野店

- ✓ 雨天時は古着の回収は中止します(缶類は実施)
- ✓ 古着は洗濯・袋詰めしてお持ちください
- ✓ 回収品目：中身入りスプレー缶
ライター・モバイルバッテリー
ガスカートリッジ

※使い切ったスプレー缶や電池は
対象外です

網代の廃校で、町おこし AJIRO Musubi の取り組み

全国的な人口減少の中で、伊東市でも学校の統廃合が大きな議論を呼んでいます。伊豆高原でも富戸小、池小、八幡野小が1つになるという案をめぐり、賛否両論取り沙汰されています。時代の趨勢と言ってしまえば仕方ないとなってしまいがちですが、そもそも1つにまとめることが本当に必要なのかという根本的な議論が必要で、今こそ市民住民が大いに意見を出し合いましょう。

お隣の町網代でも、海辺の網代小が2021年に、廃校となりました。しかしその直後に、かつてこの学校で学んだ仲間たち4人組がプロジェクトチームを立ち上げ、市の補助金を利用するなど、官民協働で一般社団法人として校舎を使って新しい事業を始めたのです。網代の人と街を結ぶ心がほどける場所を作ろうというキャッチフレーズのその名もAJIRO MUSUBI！若い人たちによる廃校の活用法として記者は見学してきました。国道と海の狭い地域に今も小学校があります。グランドもそのまま。でも1歩ドアを開くと気持ちの良いホールとカフェが広がります。クレヨンの線の残る机と椅子はきっと美術室から。



開館時間 10:00~17:00
閉館日 毎週火・水・木曜日

グランドピアノは講堂にあったのでしょうか。一つひとつの教室もほとんどそのまま残されてそこはコワーキングスペースとして各企業が使って居る。かつて校長先生が鎮座していた場所はみんなの会議室。ちょっと高級なソファセットあり。

時には海を眺めて気分転換。徒歩2分で行けます。素敵なのは、あちこちにあるレリーフ。そうこれはみんなで作った卒業制作です。大人になってこのスペースを訪れた時、自分たちの作品が目に入ったら嬉しいですね。このAJIRO MUSUBIの代表をしている山崎さんは「まだ2年目で維持管理費が予想以上にかかったり、学校ということで法的規制が多いなど課題はいろいろありますが、幼馴染の仲間と地域の発展に拘われるのはやりがいがあるし、更に事業を拡大したいです。」と希望をもって語ってくれました。 (MJ)



AJIRO Musubi
ホームページ

歳を重ねるということ、それは「進化」
それとも「退化」への緩やかな坂道なのか。

「もう年だから」は魔法の呪文？

巷には「老害」という穏やかならぬ言葉が溢れています。耳にするたびに、内心ヒヤッとします。長年培った経験は確かに尊いものですが、それがいつの間にか「昔はこうだった！」という頑なな心の鎧になっていないだろうか？

「もう年だから」— この言葉は、便利な免罪符にもなれば、新たな挑戦を阻む呪文にもなり得ます。果たして私はこの呪文を乱用していないかと自問します。最新のスマホ決済に戸惑い、キャッシュレスの波に乗り遅れまいと必死になっている姿に、心のどこかで「ま、年だしな」と囁いていないか？と。もしそうだとすれば、それは「老害」への片道切符を手にしているような気がします。

ならば、どうすればいいのか？ 答えはシンプルで「柔軟性」のようです。花壇に新種を植栽する老夫婦の笑顔、遠く離れた孫とビデオ通話を楽しむ老婆の輝く瞳。彼らは「もう年だから」なんて言葉は口にはしません。むしろ、年だからこそ面白いことを試したいという、探求心に満ちているようです。彼らこそ、真の人生の達人です。

若者から学ぶ「逆輸入の知恵」

そしてもう一つ、歳を重ねる上で大切なことがあります。

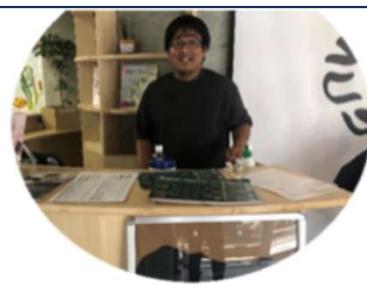


「敬ってもらうこと」ばかりを求めていないかという問いです。もちろん、経験を積んだ年長者に敬意を払うのは当然のことですが、それが「年寄りだから甘えさせてくれ」という無言のプレッシャーになっていないでしょうか。スマホの操作方法が分からず、孫に「ねえ、これどうするの？」と聞くとき、ちょっとした羞恥心を感じます。ですが、これはまたとない機会です。彼らの持つ新しい知識や感覚に触れることで、凝り固まった頭の中を揺さぶることができます。むしろ、「若者よ、私に知恵を授けたまえ！」と、堂々と教えを請うべきなのでしょう。

今日という日は、残りの人生で最も若い日！

過去の栄光に浸るのも悪くはないですが、過去は過去。今日ほど若い私はこれからの中には存在しません。笑い、学び、そして時には恥をかきながらも、新たな挑戦を続ける。無関心は止め、変化を受け入れることで、きっと新しい時間を満喫できるはずです。

私も新しいことの扉を叩いてみようかと。まずは、この原稿を娘に読ませて、感想を聞いてみようと思います。きっと、容赦ないダメ出しが飛んでくるに違いありませんが。 (風見鶏)



八幡野の秋、神々が舞う——八幡宮来宮神社「例祭」へ



静けさと豊かな自然に包まれた伊豆高原に、秋の訪れを告げる八幡宮来宮神社の例祭が、今年も華やかに執り行われます。秋空のもと、華やかに飾られた山車が八幡野港へとゆっくり進みます。沿道には地元の方々や観光客が集まり、懐かしい祭りの雰囲気に包まれながら、笑顔と歓声が広がります。重さ約60kgの万灯を先頭に、色とりどりの装飾を施した山車が続き、子どもたちの笑顔が祭りにやさしい彩りを添えます。ケヤリやシャギリ(囃子)の行列が進むなか、太鼓や笛の音が秋の町に響きます。

なお、例年は9月15・16日に行われる祭礼ですが、今年の開催日程は現在調整中です。
決まり次第、伊豆・伊東観光ガイドHPにてお知らせされるようです。 詳細は右記QRコードからご確認ください。



環境ボラってなんだ？ 孫の手ならぬ、トングの手 【環境ボランティア会 メンバー大募集】

親和会の会員になって、感じたことはありませんか？「管理費という自治会費を払っているのだから、家の周りの草刈りや、落ち葉・ゴミの清掃など、面倒なことは親和会がやってくれるだろう」と。

今の親和会の住環境は、ある程度快適だと感じている方も多いでしょう。その心地よさは、親和会の事業活動や会員による自治の積み重ねによって築かれたものです。

世の中には、所かまわず汚物を残す動物がいて、所かまわずゴミを捨てる人間もいます。

散乱するゴミを見ても平気な人もいれば、見るだけで気分が悪くなり、何とかしたくなる人もいます。とはいっても、道端に落ちた空き缶を素手で拾って持ち帰る人は、ほとんどいませんよね。空き缶は風雨に流されながらも、道に居座り続け、やがて他のゴミも仲間入りしてしまいます。



親和会管内では、伊東市が管理する桜並木道路、伊豆急が管理するコミュニティ道路、そして親和会が管理する地区内道路があります。目につくゴミを見て「何とかしたい」と思つ

た人は、管理者に苦情を入れるかもしれません。でも、親和会以外の管理者が、わざわざゴミを拾いに来てくれるることは、まずありません。そうして、地域の環境は少しずつ、確実に悪化していくのです。
だからこそ、思い切って、トングを手に取ってみませんか？ 目の前の空き缶を拾ってみる。それだけで、きっと気分がスッキリします



道路の清掃は、基本的に道路の管理者が行います。

作業のあとは、みんなで雑談しながら、ひと息つきましょう。環境ボランティア、通称「環ボラ」は、毎月25日が活動日です。午前10時に親和会事務所、または指定の場所にお越しください。 (文:環ボラ運営委員)

スパイス香る、夏の締めくくり

暑かった、そして熱かった今年の夏。
まだまだ残暑が続きますが、スパイスが利いた一皿で、夏の名残を味わってみてはいかが？

135号線沿い、グランパルの前にある本格カレーの店「KUBER」を紹介します。マネージャーの Vijay さんにお話を伺いました。日本在住 20年という Vijay さんは日本語ペラペラ。最初は東京や横浜のレストランで働く中で日本語を覚え、よく下田に遊びに来ていたので途中にある伊東の物件と出会ったのだそうです。お店のスタッフ5人はインドの同じ町(デリーの北部)の出身で、故郷には皆家族が居るので、年に1,2回は交代で帰省すること。Vijay さんも 2週間前に帰ってきたばかりだと笑っていました。

メニューはいろいろありますが、カレーとナンのプレート各種(日替わりもあり)約980円がランチにお勧め！これに200円のラッシーがおいしい！Kuber の名物は何といっても窯焼きのナン！スタッフが慣れた手つきでナンを延ばし炭火のお釜にくっつけ焼くこと数分。この炭火の火加減が難しそうですが出来立てのナンはプレートいっぱいに膨らんで、柔らかくておいしい！カレーの味も日本人好みにマイルドなものが中心で食べやすいです。最後に「会計はやつ



ぱりインド式計算で980円×13人を暗算でやるんですか？」と聞いてみました。「20かける20までは簡単に言えるけど、20年離れているとすぐにはできなくなっちゃった。」(MJ)

「親和会ライフ見たよ！
で200円のドリンクを
サービス!!

家庭菜園からの贈り物



早朝散歩で出会えました。
ご自宅でたくさん野菜が収穫できたときに、お裾分けを表に置いた籠に出してください。
運よく見かけたときは、もう感激です。第4地区にありますので、探してみてください。
城ヶ崎での日々のひとこま、
今日一日のエネルギー源となります。 (momo)



Let'sダンス ♪

何か始めたいあなた！今のフォークダンスは世界の民族舞踊を踊る大人のフォークダンスになります。実際、お試して行ってみると見学のつもりが皆さんに誘われて踊りの輪に。美しい音楽に合わせて先生のマネをしてステップを踏めば、なかなか楽しい。



いろいろなダンスを踊れば、良い運動にもなり、気分もリフレッシュ。ステップは脳トレ?にも良さげです。

みんなで踊る楽しいひとときでした。 (文:アヒル)

連絡先: 伊豆高原フォークダンスクラブ

松上和美 講師(日本フォークダンス連盟公認講師)
080-3837-6613 gele613@gmail.com
参加費1,000円／1回



IROITO刺繡教室開催のお知らせ

東京や埼玉、鎌倉で開催された刺繡教室が、伊豆高原でも2025年10月から開催されます

日時 2025年10月6日月曜日
13時から15時半まで

場所 IROITO刺繡教室
伊東市富戸903-123

講師 シマツカオリ先生
財団法人日本手芸普及協会師範認定取得

申込先 090-4389-4768
iroito_shimazukaori@mail.plala.or.jp

授業料 体験レッスン(&初回) 1,100円
通常レッスン 2,570円 材料費別



初めてのかたでも丁寧に教えますので安心です。
ソーイングセットをお持ちでない方には、お貸し出します。

第27回 伊豆高原クラフトの森フェスティバル

2025年9月26日(金)・27日(土)・28日(日)
10:00 ~ 16:00
大室山麓「さくらの里」で開催



** 世界でたったひとつのお気に入りを探してみませんか **



今年も全国から個性あふれる130のブースが芝生の広場を彩ります。本格的な作品から、世界でたった一つのモノまで、見ているだけでも十分楽しめます。

作品の背景にある物語を、作家さん自身から聞けるのもこのフェスティバルならではの楽しみです。また、ワークショップやヨガ体験なども盛り沢山、キッチンカーではこだわりの軽食が楽しめます。



昨年は荒天の中での開催でしたが多くの方で賑わいました。
さて今回は晴天に恵まれるでしょうか、楽しみにしている私は昨年こちらで見つけたお気に入りのスカートで出かけたいと思います。

まだまだ暑さの残る季節。帽子や水分補給など、熱中症対策もお忘れなくお出かけください。
(coco)

古着の拠点回収 毎月第2・4木曜日9:00~14:00 八幡野コミセン (詳しくは 伊東市ホームページ)

9月のゴミ出し日

| 可燃ゴミ | ビン | カン | 金属類 | 古紙 段ボール | われもの 乾電池 | ペットボトル |
|------------|--------|--------|--------|------------|-------------|--------|
| 月・水 金・日 | | 4 (木) | | 9 (火) | | 2 (火) |
| | 11 (木) | | | | 11 (木) | |
| | 18 (木) | 18 (木) | 18 (木) | | | 16 (火) |
| | 25 (木) | 25 (木) | | 23 (火) | | 23 (火) |

10月のゴミ出し日

| 可燃ゴミ | ビン | カン | 金属類 | 古紙 段ボール | われもの 乾電池 | ペットボトル |
|------------|--------|--------|-------|------------|-------------|--------|
| 月・水 金・日 | 2 (木) | 2 (木) | 9 (木) | | | 7 (火) |
| | 16 (木) | 16 (木) | | | 14 (火) | 16 (木) |
| | | 23 (木) | | | | 21 (火) |
| | 30 (木) | | | 28 (火) | | 28 (火) |